



未来のエスキースを描く。
東北工業大学

2024年度入学試験問題

A - 2

数

学

(100点 60分)

注意事項

- 試験開始の合図があるまで問題冊子を開いてはならない。
- この問題冊子は全部で4ページである。落丁, 亂丁, 印刷不鮮明の箇所などがあった場合には申し出ること。
- 解答には黒鉛筆を用い, ボールペン, 色鉛筆, 万年筆などを使用してはならない。
- 解答用紙はマーク式解答用紙1枚である。
- 解答用紙の指定欄に座席番号(数字), 氏名を記入し, さらに, 座席番号をマークすること。
- 誤ってマークした場合は, 消しゴムで完全に消してからマークしなおすこと。
- 1つの解答欄に2つ以上マークした場合, その解答欄の解答は無効となる。
- マーク式解答用紙は, 折り曲げたり, 破ったり, 汚したりしないこと。
- この問題冊子の余白は, 計算などに利用してもよい。
- 試験終了後, この問題冊子は持ち帰ること。

この問題冊子は開かずに裏返して、「解答上の注意」をよく読むこと。

以下の に当てはまる数値または符号を答えなさい。(結果だけでよい。)

1 2次関数 $y = -3x^2 + 24x - 21$ について考える。

(1) この2次関数のグラフと x 軸の共有点の x 座標は、小さいほうから

イ ウ, オ カ である。

(2) 定義域が $0 \leq x \leq 6$ のとき、この2次関数の最大値は ク ケ である。

(3) 定義域が $0 \leq x \leq a$ (a は定数) のとき、この2次関数の最小値が -81 となる a の値は コ サ シ である。

(4) この2次関数のグラフを x 軸の方向に -6 , y 軸の方向に -3 だけ平行移動した放物線をグラフにもつ2次関数の最大値は、定義域が $0 \leq x \leq 8$ のとき、
 ス セ ソ である。

2

(1) 三角形 ABC において, AB = 7, BC = 13, CA = 8 のとき,

$\angle A = \boxed{\text{ア}} \boxed{\text{イ}} \boxed{\text{ウ}}$ ° であり, 三角形 ABC の面積は $\boxed{\text{エ}} \boxed{\text{オ}} \boxed{\text{カ}} \sqrt{3}$,

三角形 ABC の外接円の面積は $\frac{\boxed{\text{キ}} \boxed{\text{ク}} \boxed{\text{ケ}}}{3} \pi$ である。

(2) $-90^\circ \leq \theta \leq 90^\circ$ のとき, 不等式 $\cos\left(\frac{1}{2}\theta + 15^\circ\right) \geq \frac{\sqrt{3}}{2}$ を満たす θ の値の

範囲は $\boxed{\text{コ}} \boxed{\text{サ}} \boxed{\text{シ}}^\circ \leq \theta \leq \boxed{\text{ス}} \boxed{\text{セ}} \boxed{\text{ソ}}^\circ$ である。

- 3 (1) 関数 $y = (\log_3 x)^2 - \log_3 x^4 - 3$ ($1 \leq x \leq 27$) は, $x = \boxed{\text{ア}} \boxed{\text{イ}} \boxed{\text{ウ}}$ のとき,
最小値 $\boxed{\text{工}} \boxed{\text{オ}} \boxed{\text{力}}$ をとる。
- (2) 男子 3 人, 女子 4 人が 1 列に並ぶとき, 男子と女子が交互に並ぶ方法は
 $\boxed{\text{キ}} \boxed{\text{ク}} \boxed{\text{ケ}}$ 通りある。
- (3) $S_n = \sum_{k=1}^n k(2k-1)$ とするとき, $S_9 = \boxed{\text{コ}} \boxed{\text{サ}} \boxed{\text{シ}}$ である。
- (4) 三角形 ABC において, $AB=4$, $AC=2$, $\angle C=90^\circ$ のとき, $\vec{AB} \cdot \vec{BC} = \boxed{\text{ス}} \boxed{\text{セ}} \boxed{\text{ソ}}$
である。
-

4 3次関数 $f(x) = x^3 + 3x^2 - 3ax + 1$ を考える。(a は定数)

(1) $y = f(x)$ が $x = -6$ で極大値をとるとき, $a = \boxed{\text{ア}} \boxed{\text{イ}} \boxed{\text{ウ}}$ である。

(2) $a = -1$ のとき, $y = f(x)$ のグラフ上の点 $(-2, f(-2))$ における接線の方程式が $y = mx + n$ で表されるとすると, $m = \boxed{\text{工}} \boxed{\text{オ}} \boxed{\text{力}}$, $n = \boxed{\text{キ}} \boxed{\text{ク}} \boxed{\text{ケ}}$ である。

(3) $a = 3$ のとき, $y = f(x)$ の極小値は $\boxed{\text{コ}} \boxed{\text{サ}} \boxed{\text{シ}}$ である。この極小値をとる点における接線を ℓ としたとき, $y = f(x)$ のグラフと接線 ℓ で囲まれた図形の面積は $\boxed{\text{ス}} \boxed{\text{セ}} \boxed{\text{ソ}}$ である。

(問題終わり)

解答上の注意

解答の数値や符号は、マーク式解答用紙にマークすること。

数値が正の数またはゼロの場合は必ず3ケタ、負の数の場合は必ずマイナス記号（-）と2ケタで解答すること。

例えば **ア** **イ** **ウ** と表示のあるところに解答する場合は、次のマーク例のようにマークすること。

(例)

(1) 解答が 125 の場合 ア 1, イ 2, ウ 5

ア	⊖ 0	● 2	3	4	5	6	7	8	9
イ	⊖ 0	1	● 3	4	5	6	7	8	9
ウ	⊖ 0	1	2	3	4	● 6	7	8	9

(2) 解答が 31 の場合 ア 0, イ 3, ウ 1

ア	⊖	● 1	2	3	4	5	6	7	8	9
イ	⊖ 0	1	2	● 4	5	6	7	8	9	
ウ	⊖ 0	● 2	3	4	5	6	7	8	9	

(3) 解答が 4 の場合 ア 0, イ 0, ウ 4

ア	⊖	● 1	2	3	4	5	6	7	8	9
イ	⊖	● 1	2	3	4	5	6	7	8	9
ウ	⊖ 0	1	2	3	● 5	6	7	8	9	

(4) 解答がゼロの場合 ア 0, イ 0, ウ 0

ア	⊖	● 1	2	3	4	5	6	7	8	9
イ	⊖	● 1	2	3	4	5	6	7	8	9
ウ	⊖	● 1	2	3	4	5	6	7	8	9

(5) 解答が -42 の場合 ア -, イ 4, ウ 2

ア	● 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
イ	⊖ 0	1	2	3	● 5	6	7	8	9	
ウ	⊖ 0	1	● 3	4	5	6	7	8	9	

(6) 解答が -9 の場合 ア -, イ 0, ウ 9

ア	● 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
イ	⊖	● 1	2	3	4	5	6	7	8	9
ウ	⊖ 0	1	● 3	4	5	6	7	8	●	